

4 交通網を生かして発展する農業

○温暖な気候を生かした農業

瀬戸内の気候：日照時間が多く降水量が少ない

→かんきつ類の栽培に適している

〔愛媛県南部や瀬戸内海の島々：みかんや伊予^{いよ}かんなど生産
小豆島^{しょうど}（香川県）：オリーブの生産

○競争力を高める取り組み

瀬戸内の農業：かんきつ類はみかんの生産が中心

→他の生産地との競争、アメリカからのオレンジ輸入（1990年代）により、みかんの出荷額が減少

〔愛媛県：みかんとは収穫時期の異なるかんきつ類の生産
生口島^{いくちじま}（広島県）、岩城島^{いわぎしま}（愛媛県）：レモンの生産に特化

高知平野の農業：温暖な気候を生かし、野菜の生産が盛ん

→ビニールハウスを利用した（ ）が行われ、なすやピーマンなど栽培

○交通網の発達による市場の拡大

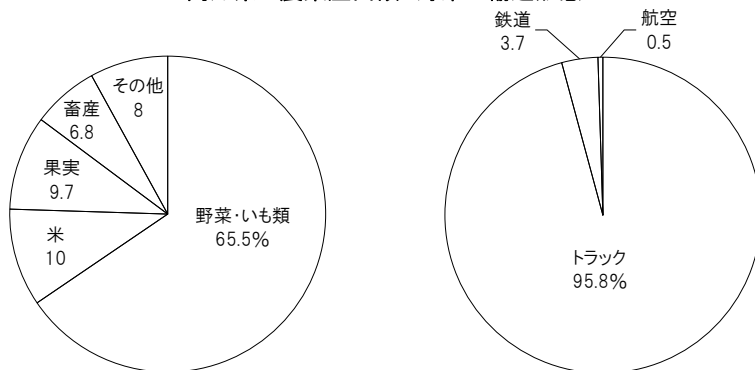
瀬戸内・南四国で生産された作物：船や鉄道で近畿地方の市場に出荷

→連絡橋や高速道路網の整備、保冷トラックの普及により、東京や札幌などに出荷

岡山県：丘陵地で白桃やマスカットの生産

→航空機でホンコンや東南アジアに向けて輸出

＜高知県の農業産出額と野菜の輸送形態＞



農業産出額(2018):1170 億円

輸送形態(2019 年度)